

(質問)

台風の進路予想図の見方を教えてください。

(回答)

右の図で説明します。

(以下の番号は図の番号に対応しています)

①: 観測時刻を年月日とともに記載しています。

②: 台風の現在位置を×印で表します。

暴風域

風速25m/s以上の暴風が吹いている範囲を実線の円で表します。台風によっては25m/s以上の暴風域がない

こともあります、その場合はこの円は表示されません。

③: 強風域

風速15m/s以上の強風が吹いている範囲を破線の円で表します。

④: 12時間後の予報円

台風が12時間後に進むと予想される範囲を破線の円で表します。

12時間後の暴風警戒域

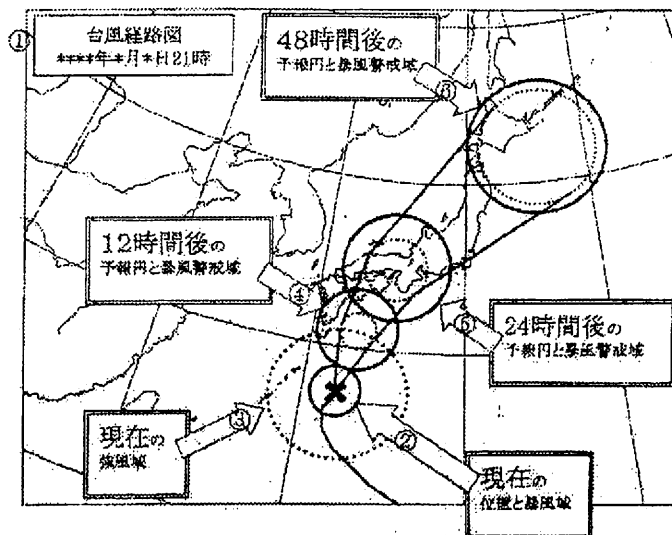
台風が12時間後に進むと予想される予報円を基に、風速25m/s以上の暴風が吹くと予想される範囲を実線の円で表します。12時間後に25m/s以上の暴風域がないと予想される場合はこの円は表示されません。

⑤: 24時間後の予報円、24時間後の暴風警戒域

④の説明文の「12時間後」を「24時間後」と読み替えて下さい。

⑥: 48時間後の予報円、48時間後の暴風警戒域

④の説明文の「12時間後」を「48時間後」と読み替えて下さい。



台風の進路予報は、03時、09時、15時、21時は、72時間先まで予報しますが、0時、06時、12時、18時は、48時間先までの予報となります。

注: 予報円は、予想時刻に台風が到達する可能性が大きい範囲を表したもので、円の中に台風が中心が入る確率は70%です。

また、次の予報時刻には内容が変化します。普通、予報の誤差は長い時間の予報ほど大きくなりますので、同じ時刻に対する予報では、新しいもの(後で発表されたもの)ほど誤差が小さくなります。従って、常に新しい予報を使うことが大切です。

(問い合わせ先)

連絡先 甲府地方气象台
担当 防災業務課
電話 055(222)9101